



Crosswork Cloud Trust Insights の使用開始

このワークフローでは、すぐに Crosswork Cloud Trust Insights の使用を開始するためのタスクの概要を示します。


Crosswork Cloud Trust Insights ではデータ収集に Crosswork Data Gateway が使用されるため、ワークフローには、Crosswork Data Gateway のインストールおよびセットアップ方法に関する概要情報も含まれています。




- [概要 Crosswork Cloud Trust Insights \(1 ページ\)](#)






概要 Crosswork Cloud Trust Insights


表 1: Crosswork Cloud Trust Insights のセットアップおよび使用開始ワークフローの概要

手順	操作	手順と注記
Crosswork Data Gateway		
1	Crosswork Data Gateway の要件を確認します。	インストール要件
2	Crosswork Data Gateway のインストール中に必要な情報を収集します。次の点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none">• Crosswork Data Gateway が Crosswork Cloud（管理インターフェイス）に接続できるネットワーク• Crosswork Data Gateway がデバイスに接続できるネットワーク（オプションのサウスバウンドインターフェイス）• 各インターフェイスの IP アドレス情報• プロキシ（インターネットへの接続が必要な場合）	展開パラメータとシナリオ

手順	操作	手順と注記
3	Crosswork Data Gateway をインストールします。	<ul style="list-style-type: none"> サポートされているすべてのプラットフォームの詳細な手順については、Crosswork Data Gateway のインストールを参照してください。 クイックリファレンスとして、vCenter vSphere クライアントを使用した Crosswork Data Gateway のインストールも参照できます。この例では、サポートされている Crosswork Data Gateway の最新のイメージを取得して、インストールが成功したことを確認します。
4	Crosswork Data Gateway から、登録パッケージ (.json ファイル) を取得し、後でアクセスできる場所にダウンロードします。 .json 登録ファイルには、Crosswork Data Gateway を Crosswork Cloud に登録するために使用される一意のデジタル証明書が含まれています。	登録パッケージの取得とエクスポート
Crosswork Cloud Trust Insights		
5	<p>登録パッケージをアップロードして Crosswork Data Gateway を Crosswork Cloud Trust Insights に登録します。</p> <p>(注) 各 Crosswork Data Gateway は1つの Crosswork Cloud アプリケーションにのみ適用できます。これは、この Crosswork Data Gateway インスタンスを Crosswork Cloud Traffic Analysis に使用できないことを意味します。</p>	<p>Crosswork Data Gateway 情報の追加</p> <p> > [設定 (Configure)] > [データゲートウェイ (Data Gateways)] > [データゲートウェイの追加 (Add Data Gateway)] > [登録ファイル (Registration File)]</p>
6	Cisco IOS XR でサポートされているイメージ、登録キー、証明書、および Crosswork Cloud Trust Insights の要件がすべて揃っていることを確認します。	<ul style="list-style-type: none"> Cisco IOS XR でサポートされるイメージ ルータ構成の確認

手順	操作	手順と注記
7	Cisco IOS XR ルータに対する不正な操作や設定の変更を防ぐために、Crosswork Trust Insights のデバイスへのアクセスが制限されているユーザーを設定します。	制限付き権限のユーザーの設定
8	ドシエ収集を開始して最新のデバイス情報を取得します。	Trust Insights のデバイスドシエのデータ収集  > [設定 (Configure)] > [デバイス (Devices)] > [デバイス名 (device-name)] > [Trust Insights] > [ドシエの収集 (Collect Dossier)]
9	デバイスを追加します。 (注) デバイスがすでに Crosswork Cloud に追加されている場合は、Crosswork Cloud Trust Insights ( > [データゲートウェイ (Data Gateways)] > [データゲートウェイ名 (data-gateway-name)] > [リンク済み信頼デバイス (Linked Trust Devices)] タブにリンクするだけです。	<ul style="list-style-type: none"> • デバイスの追加  [デバイス (Devices)] > [デバイスの追加 (Add Device)] • すべての接続が稼働していることを確認します。 [デバイス (Devices)] > [デバイス名 (device_name)] > [ステータス (Status)] タブ (注) 次の情報を入力する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> • 名前 • ホスト名 (Hostname) • デバイスのタイムゾーン • データゲートウェイ • ログイン情報グループ (前の手順で定義)

手順	操作	手順と注記
10	デバイスを追加するときに使用するデバイスログイン情報プロファイルを追加します。	<p>クレデンシャルの作成</p> <p> > [設定 (Configure)] > [ログイン情報 (Credentials)] > [ログイン情報の追加 (Add Credential)]</p>
11	デバイスを追加すると、収集プロセスが開始されます。データが収集されるまでしばらく待ってから、デバイスのデータ収集が成功したことを確認します。	<p> > [モニター (Monitor)] > [デバイス (Devices)] > [デバイス名 (device-name)] [Trust Insights] タブ</p>
次のステップ		
10	<p>ソフトウェアを確認し、ランタイム署名分析を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアインベントリに、デバイスの正しい IOS XR インベントリが反映されていますか。 ソフトウェアパッケージに検証済みのソフトウェア署名が表示されますか (IMA「Observed Running」) ソフトウェアパッチ (SMU) は、実稼働システム全体に正常に展開されていますか。 ソフトウェアはコンプライアンスに準拠していますか。 	<p> > [モニター (Monitor)] > [デバイス (Devices)] > [デバイス名 (device-name)] [Trust Insights] タブ</p>
12	ハードウェアインベントリを確認します。	<p>デバイス インベントリの表示</p> <p> > [モニター (Monitor)] > [デバイス (Devices)] > [デバイス名 (device-name)] [Trust Insights] タブ。[Inventory] タブをクリックします。</p>
11	<p>システムで確認された変更履歴を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> スケジュールされたメンテナンスが完了したことを確認します。 既知のネットワークの問題をさらに調査します。 デバイスの再起動または設定変更を表示します。 ソフトウェアはコンプライアンスに準拠していますか。 	<p>デバイスの変更の表示</p> <p> > [モニター (Monitor)] > [デバイス (Devices)] > [デバイス名 (device-name)] [Trust Insights] タブ。[変更 (Changes)] タブをクリックします。</p>

手順	操作	手順と注記
12	<p>単一のデバイスが基準として使用されるように選択されているデバイス構成を比較します。実稼働環境内に展開された同様のデバイスにインストールされているソフトウェアパッケージ間の違いを特定します。</p> <p>逸脱したデバイスをコンプライアンスに適合させるために、推奨される変更の「パンチリスト」を生成します。</p>	<p>デバイスの比較</p> <p> > [ツール (Tools)] > [デバイスの比較 (Device Comparison)]</p>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。